

## プロフィール



I W A T A  
TAKASHI  
岩田 崇

株式会社 ハンマーバード代表  
慶應義塾大学SFC研究所  
上席所員



[www.hammerbird.jp](http://www.hammerbird.jp)

Yahooニュース掲載の  
地方自治やメディアに  
に関する論説



1973年  
名古屋生まれ

090-7903-2885  
[takashi@hammerbird.jp](mailto:takashi@hammerbird.jp)

最終更新 2021年1月

# "Innovation by Consensus"

個々人に "Sovereign power" がありながら、コミュニケーションが  
旧態依然のままである矛盾が、社会運営でも企業組織でも問題の根底に存在します。  
この矛盾を解くことで課題解決、価値向上を図るアプローチが、  
Innovation by Consensusです。

- マーケティングプランナーとして広告、販促企画から企業のネットコミュニケーション戦略の策定・実施を手がける。仕事を通じて、政治分野へのマーケティングとコミュニケーションの応用が今後の日本社会に必要と考え、独立。株式会社ハンマーバードを（相互理解を妨げる壁を壊し、繋ぐ手段を創るハンマーを持つ青い鳥）起業。同時に慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科に入学。
- 政治学の曾根泰教教授、行政改革の上山信一教授、ネットワーク論の金子郁容教授のもとで合意形成に繋がる議論の場がほとんどない日本政治の機能を補う仕組みとして、**オンライン政策ファシリテーター**：『ポリネコ』の基礎要素を開発、特許化。大学院での研究で100人以上の現職国會議員と1万人の一般参加で世論調査とは異なる**輿論調査としての有効性を確認**。また、多くの企業において外部と内部のコミュニケーションが一体化されていない実務経験をもとに、**企業内の個々人と社会（ステークホルダー）のつながりを『色』で視覚化する方法**を開発し特許化。
- 新潟市都市政策研究所では、過度な自動車社会となっている新潟市の政策課題である、**『公共交通の再構築』**の政策分析および行政、企業、市民を繋ぐコミュニケーションデザインとして"バス奉行"を企画し解決の緒をつくることに成功。
- フジテレビ/BSフジ『コンパス』、朝日新聞『オルタナティブニッポン』では、**既存メディアとソーシャルメディア（SNS）の組み合わせによる先進事例**を開発。朝日新聞では、結論を決めず、情報の送り手と受け手のキャッチボールから、記事をつくるプロジェクトを企画開発。紙面と連動するニコ生放送を夏野剛氏らと実施。『コンパス』では100名以上の有識者（大学教授・研究者、経営者、各分野の専門家 佐々木俊尚氏 飯田泰之氏 クロサカタツヤ氏 常見陽平氏など）を番組に繋ぐ/事務局/ファシリテーター機能を担う。フジテレビのネット放送 ホウドウキョク『コンパス』では佐々木俊尚氏速水健朗氏、三浦瑠麗氏などMCとともに番組企画を担当。
- 『ポリネコ』の地域版として『自治体PRM』を開発。先行モデルを栃木県塩谷町で実施。人口減少が続く状態に、町はどう対処すべきかを中学生以上の**住民2000名以上と町議会議員12名の参加**によって〈人が育つまちづくり〉という方向性への**意思形成に成功**。**第11回マニフェスト大賞最優秀コミュニケーション戦略賞を受賞**（2016）
- デロイトトーマツコンサルティング合同会社と共に、**『自治体コミュニケーションの未来を展望する調査2019』**を実施。全国565の市と町の回答から、地方自治体におけるコミュニケーション（広報・公聴）が惰性化し、機能不全に陥っていることを回答データに基づき可視化。
- メディア環境の変化を踏まえ、発展型『ポリネコ！』をリリースに向け開発中。

## ■主な特許

- **『政治家評価システム』** 特許4528691号  
国民と政治家が社会や地域の課題に関わるデータやファクトを"知り-学び-考え-意思表示"して相互参照することで、お互いの考え方のシンクロ率を確認しながら相互理解のサイクルを回す（アクティブマッチング）を実現することで、国民と政治家が一緒に最適解を見出し共有する仕組み。現在不可能な国民的議論を実現し、デジタル・ガバメントを可能にする双方向参加型社会運営 インフラ:Political Needs Coordinator (PoliNeCo : ポリネコ) の基礎要素
- **『属性情報管理システム』** 特許4619073号  
組織や団体の理念・経営戦略と、個々人の考え方、行動を結びつけ『色』に変換することで、働く個人と集団の関わり方を相対化した組織運営（強いリーダーシップと組織内の分断、縦割り解消の両立）を実現する。同時に、心理的安全性を確保した環境整備を促進するメディアデザイン。Interactive Identity Communication And consensus Organizer (iicao : イイカオ) の基礎要素